

<総計欄> 10月の仕入量は167,037トン前月比+9.0%、前年同月比-3.7%、販売量は164,445トン前月比+4.7%、前年同月比-5.8%。仕入量、販売量ともに前月比増加、前年同月比減少しました。在庫量は205,146トン前月比+1.3%、前年同月比+0.1%、在庫量は前月比増加、前年同月比微増。在庫率は124.8ポイントと下降しました。

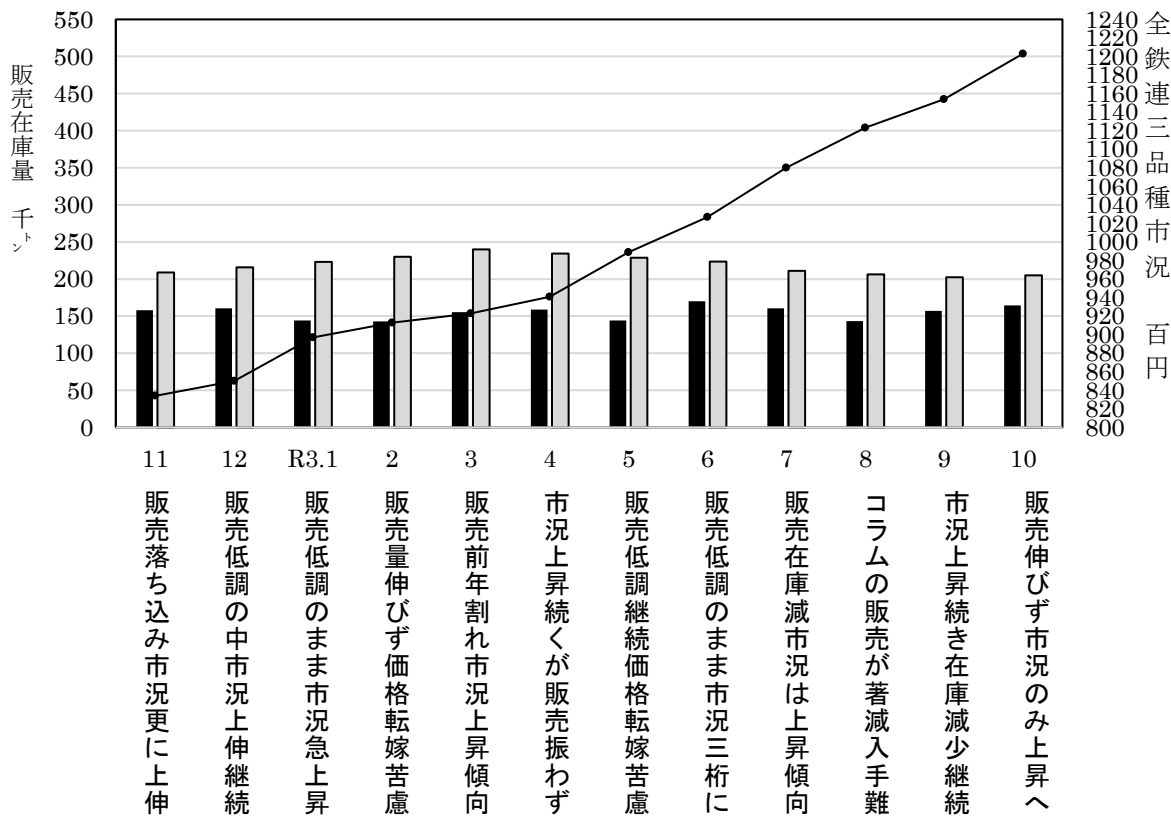
秋需は感じられず、特に中小物件の回復が遅れており苦戦しています。土木の引合いは徐々に増えてきています。市況についてメーカー値上げに追い付かず価格転嫁は道半ばの状況です。

<販売欄> 品種別では異形棒鋼6.0%増加、東京8.5%増加、大阪12.4%著増、愛知32.1%著減しました。H形鋼は4.4%増加、東京7.9%増加、大阪7.0%増加、愛知5.9%減少しています。その他品種では山形鋼10.1%著増、溝形鋼7.1%増加、コラム13.6%著減、C形鋼6.5%減少しています。

<在庫欄> 品種別では異形棒鋼2.3%減少、東京0.4%微減、大阪6.9%増加、愛知10.2%著減しています。H形鋼は2.1%増加、東京4.5%増加、大阪3.1%増加、愛知7.8%減少しています。その他品種は山形鋼2.2%減少、溝形鋼2.5%増加、コラム6.9%増加、C形鋼1.9%増加となっています。

過去13ヶ月間の3指標の推移

■ 販売量 □ 在庫量 ● 三品種市況



11 販売落ち込み市況更に上昇
 12 販売低調の中市況上伸継続
 R3.1 販売低調のまま市況急上昇
 2 販売量伸びず価格転嫁苦慮
 3 販売前年割れ市況上昇傾向
 4 市況上昇続くが販売振わず
 5 販売低調継続価格転嫁苦慮
 6 販売低調のまま市況三桁に
 7 販売在庫減市況は上昇傾向
 8 コラムの販売が著減入手難
 9 市況上昇続き在庫減少継続
 10 販売伸びず市況のみ上昇へ